

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和2年度 12月号



PC室前
そろえられたうわぐつ



◆ていねい

左の写真は、体育の授業で、体育館に出かけた1年生の教室です。どの子のいすも、きれいに机の中にしまっていました。

他の二つの写真からもわかるとおり、御前崎小の子どもたちの日々には、こうした「ていねい」がたくさんあります。

もちろん、何もせずにできるわけではありません。最初は、担任や担当が、「ていねい」に声をかけています。その繰り返しの中で、気づく子が増え、習慣になる子、やさしく声掛けする子が増えてきた結果だと思えます。



運動会準備の高学年
そろえられたランドセル



右の写真はその集大成です。これは、放課後、委員会の用事で職員室に入室した6年生のランドセルです。誰に言われなくとも、自然とていねいに置く姿がありました。

教室や廊下はみんなの空間、それを大切にする「ていねい」は、子どもたちが幸せに生きていく道で、きっと助けになる力だと思っています。

◆ふるさと御前崎の良さを再確認する年末年始に



終業式では、子どもたちに、ふるさとの歌「唱歌 御前崎」について話をする予定です。

「唱歌 御前崎」は、子どもたちが使っている歌集「明るい声で」に、校歌と見開きで掲載されている歌です。昭和10年に、下村徳市さんが作詞し、県の郷土唱歌コンクールで入選したものと聞いています。ただ、子どもたちにとって、お手本のない曲は新しく覚えるのも教えるのも難しく、ここ数年は取り扱うこともできないままでした。

このたび、地元有志のみなさんのご尽力で、市民文化会館での演奏データをいただくことができました。

この歌詞にもあるとおり、御前崎には素晴らしいものがたくさんあります。日本の朝日夕日百選に選ばれる初日の出など、子どもたちにはこの冬休みに、ふるさとの良さを再発見してほしいと願っています。

御前崎
一 波うち寄する 御前崎
そびえて高き 燈台は
百衣のすがた おごそかに
荒海とおく てらすなり

◆御前崎愛といえば

御前崎市茶業振興協議会様より、特産品の「やぶきた」と「つゆひかり」の2種類を、子どもたち一人一人にいただきました。



この冬は、ぜひ地元のおいしいお茶で、ご家族だんらんを。そして、(少し早いですが) みなさまどうか良いお年をお迎えください。

(校長 仁平美和子)

